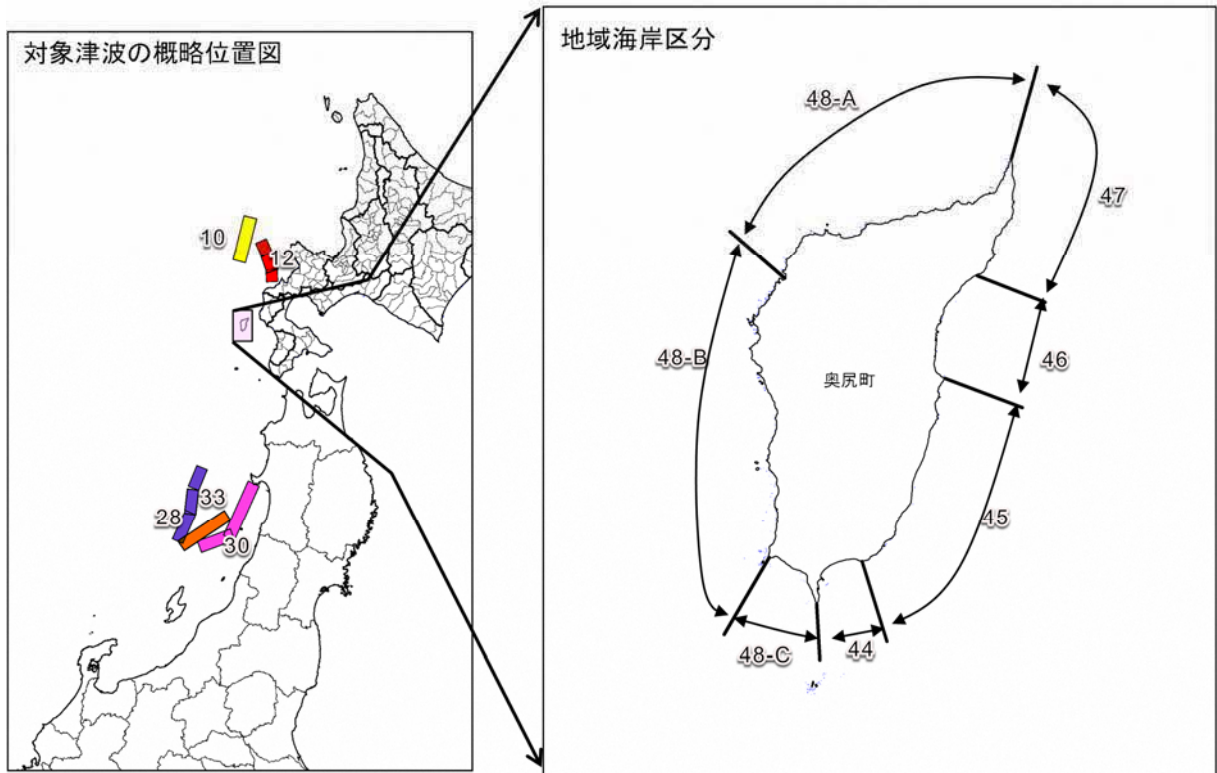


○檜山振興局〔奥尻町〕

No	地域海岸区分		断層モデル	設計津波水位 (T.P.m)	既存海岸堤防等の 代表的な高さ	
44	奥尻島 青苗地区（青苗岬）	～ 奥尻島 松江地区	F28	3.2m	11.0m	
45	奥尻島 松江地区	～ 奥尻島 赤石地区	F12	2.3m	10.8m	
46	奥尻島 奥尻地区	～ 奥尻島 球浦地区	F12	2.6m	5.4m	
47	奥尻島 宮津地区	～ 奥尻島 稲穂（稲穂岬）	F30	2.9m	9.0m	
48	48-A	奥尻島 稲穂（稲穂岬）	～ 奥尻島 湯浜地区（幌内川河口）	F10	5.0m	9.1m
	48-B	奥尻島 湯浜地区（幌内川河口）	～ 奥尻島 米岡地区（群来岬）	F10	4.4m	6.6m
	48-C	奥尻島 米岡地区（群来岬）	～ 奥尻島 青苗地区（青苗岬）	F33	4.7m	4.5m

※既設海岸堤防等の代表的な高さは、地域海岸内の各地域海岸で高さが異なることから、地域内の背後地における保全対象の多い地区を代表として、既存の堤防高等の高さを記載。

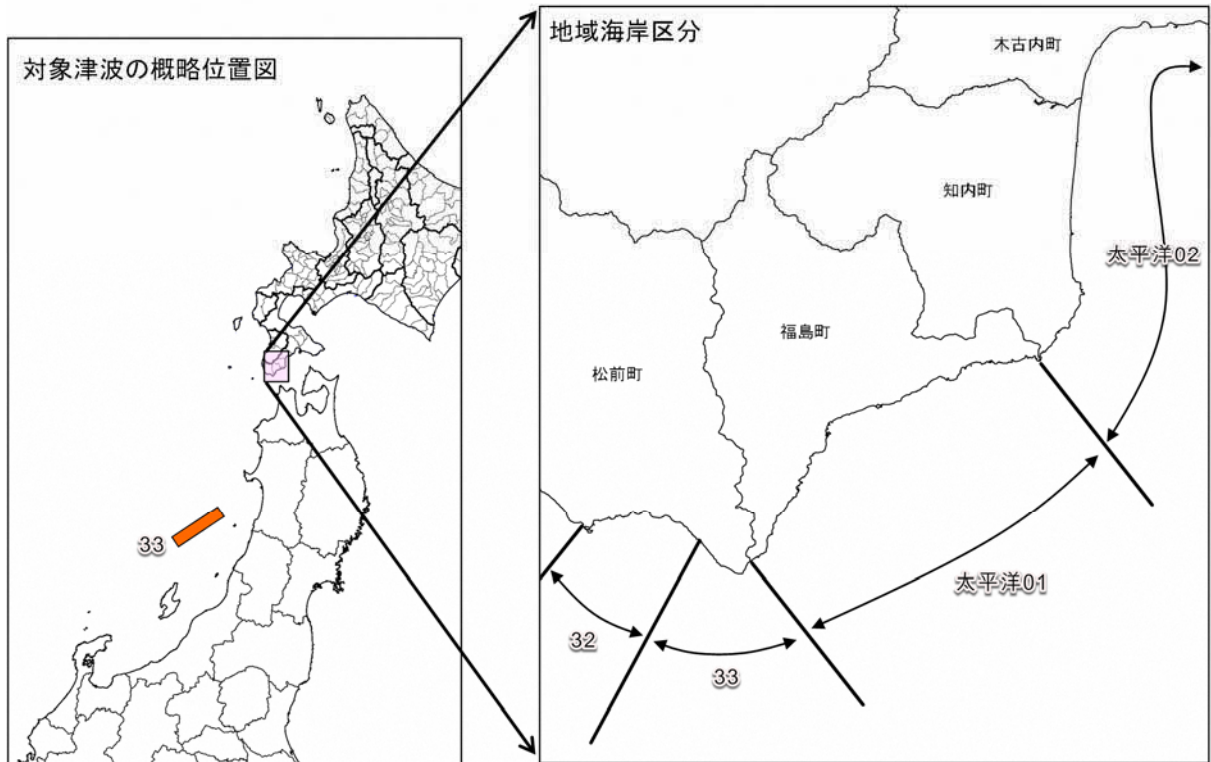
※設計津波水位は、津波シミュレーション結果から、地域海岸の海岸保全区域における最も高い津波高を記載している。少数第2で切り上げて設定。単位は、東京湾平均海面（T.P.m）



○渡島総合振興局〔福島町〕

No	地域海岸区分		断層モデル	設計津波水位 (T.P.m)	既存海岸堤防等の 代表的な高さ
1	太平洋1	福島海岸	F33	1.7m	4.5m
			三陸沖北部	1.3m	

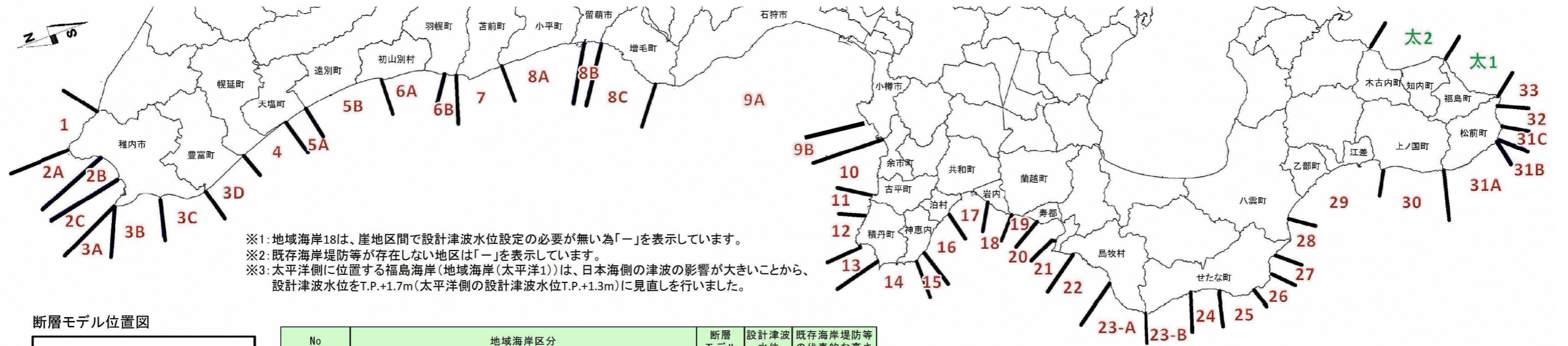
※既設海岸堤防等の代表的な高さは、地域海岸内の各地域海岸で高さが異なることから、地域内の背後地における保全対象の多い地区を代表として、既存の堤防高等の高さを記載。
 ※設計津波水位は、津波シミュレーション結果から、地域海岸の海岸保全区域における最も高い津波高を記載している。少数第2で切り上げて設定。単位は、東京湾平均海面 (T.P.m)
 ※太平洋側に位置する当該地域海岸は、日本海側の津波の影響が大きいため、設計津波水位を T.P.+1.7m (太平洋側の設計津波水位 (三陸沖北部) T.P.+1.3m) に見直しを行いました。



4. 設計津波水位について

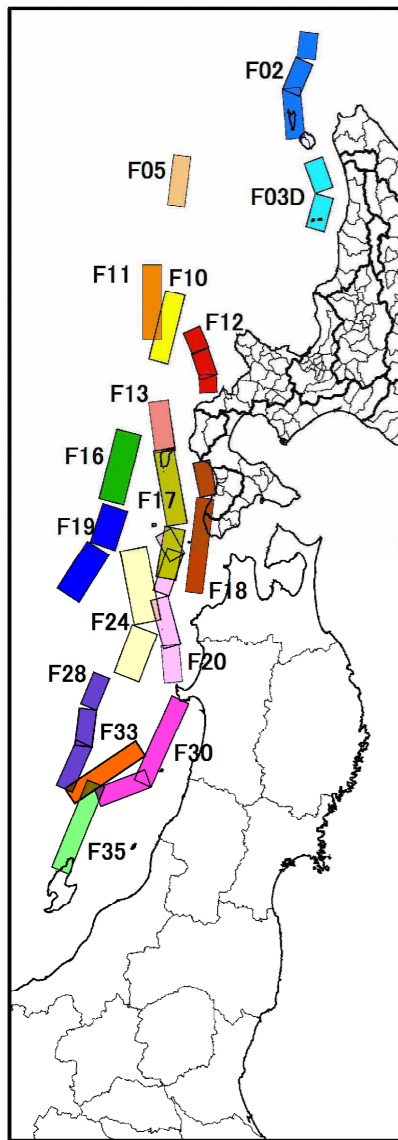
- オホーツク海沿岸については、今後、国や道が行う新たな知見による津波の検討結果を踏まえ、設計津波水位の検討を行っていく考えです。また、太平洋沿岸についても、新たな知見が得られた場合には再検討し見直すことがあります。
- 宗谷海峡沿岸及び津軽海峡沿岸の設計津波水位については、オホーツク海沿岸や太平洋沿岸の津波を検討した際に見直すことがあります。
- 今後の精査や、国等からの新たな知見や断層モデルが示された場合には、設計津波水位を変更することがあります。

設計津波水位一覧

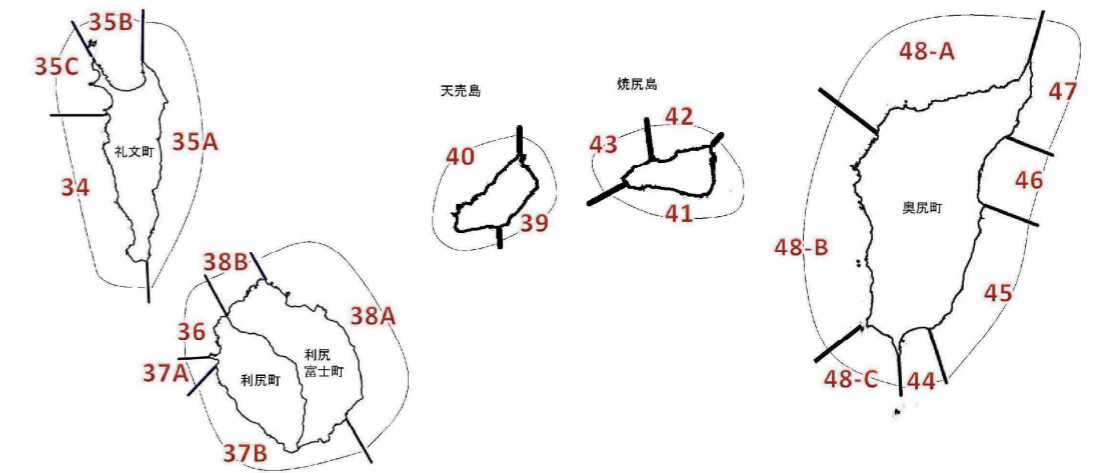


※1: 地域海岸18は、崖地区間で設計津波水位設定の必要が無い為「-」を表示しています。
 ※2: 既存海岸堤防等が存在しない地区は「-」を表示しています。
 ※3: 太平洋側に位置する福島海岸(地域海岸(太平洋1))は、日本海側の津波の影響が大きいため、設計津波水位をT.P.+1.7m(太平洋側の設計津波水位T.P.+1.3m)に見直しを行いました。

断層モデル位置図

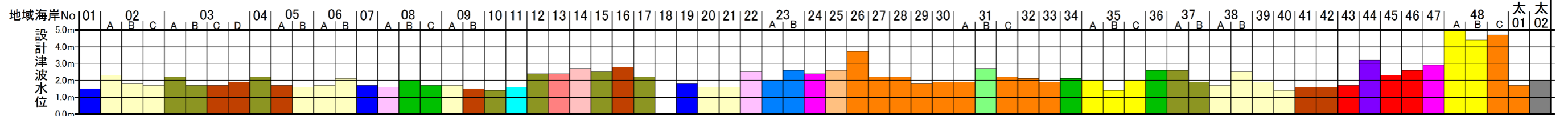


No	地域海岸区分	断層モデル	設計津波水位	既存海岸堤防等の代表的な高さ
1	1 稚内海岸 東浦地区 ~ 大岬地区 宗谷岬	F19	1.5m	3.2m
2	2-A 稚内海岸 大岬地区 宗谷岬 ~ 富磯地区(増幌川河口)	F24	2.3m	3.1m
	2-B 稚内海岸 富磯地区(増幌川河口) ~ 声間地区	F24	1.8m	4.3m
	2-C 稚内海岸 声間地区 ~ 潮見地区	F24	1.7m	4.6m
	2-D 稚内海岸 潮見地区 ~ 野寒布地区	F17	2.2m	2.9m
3	3-A 稚内海岸 野寒布地区 ~ 抜海地区	F17	1.7m	3.6m
	3-B 稚内海岸 抜海地区 ~ オネトマナイ地区	F18	1.7m	3.4m
	3-C 稚内海岸 オネトマナイ地区 ~ 豊富海岸 稚咲内地区	F18	1.9m	- ※2
	3-D 豊富海岸 稚咲内地区 ~	F18	1.9m	- ※2
4	4 幌延海岸 ~ 天塩川河口	F17	2.2m	4.5m
5	5-A 天塩川河口 ~ 天塩海岸 浜東岸海岸	F18	1.7m	5.0m
	5-B 遠別海岸 ~ 初山別海岸 豊岬地区	F24	1.6m	4.4m
6	6-A 初山別海岸 豊岬地区 ~ 羽幌海岸 羽幌川河口	F24	1.7m	6.5m
	6-B 羽幌海岸 羽幌川河口 ~ 羽幌海岸 栄町地区	F24	2.1m	3.4m
7	7 苫前海岸 ~	F19	1.7m	5.2m
8	8-A 小平海岸 ~ 留萌海岸 大町地区	F20	1.6m	6.3m
	8-B 留萌海岸 大町地区 ~ 留萌海岸 札受地区	F16	2.0m	5.0m
	8-C 留萌海岸 札受地区 ~ 増毛海岸 日方治地区	F16	1.7m	9.1m
9	9-A 増毛海岸 クズレ地区 ~ 小樽海岸 塩谷1丁目地区	F24	1.7m	4.6m
	9-B 小樽海岸 塩谷1丁目地区 ~ 余市海岸	F18	1.5m	4.0m
10	10 余市海岸 ~ 古平海岸 御崎地区	F17	1.4m	4.4m
11	11 古平海岸 群来地区 ~ 積丹海岸 浜婦美地区	F03D	1.6m	6.2m
12	12 積丹海岸 浜婦美地区 ~ 積丹海岸 黒松内地区	F17	2.4m	4.9m
13	13 積丹海岸 泊地区 ~ 積丹海岸 余別地区	F13	2.4m	4.7m
14	14 積丹海岸 草内地区 ~ 神恵内海岸 ノット地区	F05	2.7m	6.8m
15	15 神恵内海岸 川白地区 ~ 神恵内海岸 珊内地区	F17	2.5m	6.0m
16	16 神恵内海岸 珊内地区 ~ 泊海岸 釜地区	F18	2.8m	5.9m
17	17 泊海岸 泊地区 ~ 岩内海岸 敷島内地区	F17	2.2m	4.4m
18	18 岩内海岸 敷島内地区 ~ 蘭越海岸 能津登地区	- ※1	-	6.6m
19	19 蘭越海岸 能津登地区 ~ 寿都海岸 横洞地区	F19	1.8m	6.8m
20	20 寿都海岸 横洞地区 ~ 寿都海岸 大磯地区	F24	1.6m	4.4m
21	21 寿都海岸 大磯地区 ~ 島牧海岸 歌島地区	F24	1.6m	4.1m
22	22 島牧海岸 美川地区 ~ 島牧海岸 元町地区	F20	2.5m	6.7m
23	23-A 島牧海岸 原歌地区 ~ 島牧海岸 栄浜地区	F02	2.0m	6.4m
	23-B 瀬棚海岸 須巻地区 ~ 瀬棚海岸 梅花都地区	F02	2.6m	6.1m
24	24 瀬棚海岸 三本杉地区 ~ 北檜山海岸 川尻地区	F30	2.4m	7.4m
25	25 北檜山海岸 太櫓地区 ~ 大成海岸 太田地区	F11	2.6m	7.1m
26	26 大成海岸 太田地区 ~ 大成海岸 都地区	F33	3.7m	7.0m
27	27 大成海岸 都地区 ~ 大成海岸 平浜地区	F33	2.2m	7.4m
28	28 大成海岸 貝取瀬地区 ~ 熊石海岸 鮎川地区	F33	2.2m	7.6m
29	29 熊石海岸 鮎川地区 ~ 上ノ国海岸 大崎地区	F33	1.8m	6.3m
30	30 上ノ国海岸 大崎地区 ~ 上ノ国海岸 小砂子地区	F33	1.9m	6.7m
31	31-A 松前海岸 神山地区 ~ 松前海岸 館浜地区	F33	1.9m	8.2m
	31-B 松前海岸 館浜地区 ~ 館浜漁港西岸トノマ岬	F35	2.7m	5.5m
	31-C 館浜漁港西岸トノマ岬 ~ 松前海岸 建石地区	F33	2.2m	7.7m
32	32 松前海岸 弁天地区 ~ 松前海岸 荒谷地区	F33	2.1m	5.8m
33	33 松前海岸 荒谷地区 ~ 松前海岸 白神地区	F33	1.9m	6.2m



単位: T. P. (m)

No	地域海岸区分	断層モデル	設計津波水位	既存海岸堤防等の代表的な高さ
34	34 礼文海岸 西上泊地区 ~ 礼文海岸 知床地区 会津ノ崎	F16	2.1m	5.0m
35	35-A 礼文海岸 知床地区 会津ノ崎 ~ 礼文海岸 弁財泊地区	F10	2.0m	4.2m
	35-B 礼文海岸 船泊地区 ~ 礼文海岸 須古頓地区(スコトン岬)	F10	1.4m	4.7m
	35-C 礼文海岸 須古頓地区(スコトン岬) ~ 礼文海岸 鉄府地区	F10	2.0m	5.8m
36	36 利尻海岸 栄浜地区 ~ 利尻海岸 富士見地区(沓形岬)	F16	2.6m	4.7m
	37 利尻海岸 富士見地区(沓形岬) ~ 利尻海岸 泉町地区	F17	2.6m	6.5m
37	37-A 利尻海岸 泉町地区 ~ 利尻海岸 金崎地区	F17	1.9m	5.8m
	37-B 利尻海岸 神居地区 ~ 利尻海岸 富士野地区	F24	1.7m	4.8m
38	38-A 利尻海岸 富士野地区 ~ 利尻海岸 大磯地区	F24	2.5m	3.4m
	38-B 利尻海岸 大磯地区 ~ 利尻海岸 大磯地区	F24	2.5m	3.4m
39	39 天売島 相影地区 ~ 天売島 弁天地区	F24	1.9m	4.4m
40	40 天売島 千鳥ヶ浦地区 ~ 天売島 相影地区	F24	1.4m	- ※2
41	41 焼尻島 白浜地区 ~ 焼尻島 東浜地区	F18	1.6m	4.4m
42	42 焼尻島 豊崎地区 ~ 焼尻島 西浦地区	F18	1.6m	4.9m
43	43 焼尻島 西浦地区 ~ 焼尻島 白浜地区	F12	1.7m	- ※2
44	44 奥尻島 青苗地区(青苗岬) ~ 奥尻島 松江地区	F28	3.2m	11.0m
45	45 奥尻島 松江地区 ~ 奥尻島 赤石地区	F12	2.3m	10.8m
46	46 奥尻島 赤石地区 ~ 奥尻島 球浦地区	F12	2.6m	5.4m
47	47 奥尻島 球浦地区 ~ 奥尻島 稲穂(稲穂岬)	F30	2.9m	9.0m
48	48-A 奥尻島 稲穂(稲穂岬) ~ 奥尻島 湯浜地区(幌内川河口)	F10	5.0m	9.1m
	48-B 奥尻島 湯浜地区(幌内川河口) ~ 奥尻島 米岡地区(群来岬)	F10	4.4m	6.6m
	48-C 奥尻島 米岡地区(群来岬) ~ 奥尻島 青苗地区(青苗岬)	F33	4.7m	4.5m
1	太平洋1 福島海岸	F33	1.7m ※3	4.5m
2	太平洋2 知内海岸 ~ 木古内海岸	三陸沖北部	2.0m	4.5m



「地域海岸における適用断層モデルと設計津波水位」

「北海道日本海沿岸の設計津波水位検討委員会」委員名簿及び開催経緯

○検討委員名簿

委員長	山下 俊彦	: 北海道大学大学院工学研究院教授
委員	谷岡 勇市郎	: 北海道大学大学院理学研究院教授
委員	木村 克俊	: 室蘭工業大学大学院工学研究科教授
委員	浜本 聡 第1回委員会	: (独)寒地土木研究所寒地水圏研究グループ長
委員	船木 淳悟 第2回、第3回委員会	: (独)寒地土木研究所寒地水圏研究グループ長
委員	岡崎 紀俊	: (独)北海道立総合研究機構地質研究所主幹

○開催経緯

第1回委員会	: 平成27年10月20日開催
第2回委員会	: 平成28年11月29日開催
第3回委員会	: 平成29年3月29日開催